

10月1日（火）～3日（木）【中学部修学旅行】（中学部）

中学部では、10月1日から2泊3日の修学旅行に行ってきました。訪問先は、1日目は東山ガーデンポートと名古屋港水族館、2日目はレゴランド、3日目はリニア鉄道館、中部国際空港セントレアです。最終日以外は天候に恵まれ、参加生徒全員元気に楽しく過ごすことができました。

2024年度
滋賀県立三雲養護学校
中学部修学旅行



名前_____



< 中学部 >

1 概要

中学部の生徒は、1年生27名、2年生20名、3年生19名、計66名である。生徒の障害状況は、知的障害を伴う自閉スペクトラム症、ダウン症、脳性まひなど様々であり、中でも自閉スペクトラム症の占める割合が高くなっている。また医療的なケアを必要とする生徒や、知的障害の程度が中軽度でも、障害特性への配慮が必要な生徒が多くなってきている。

どの生徒も思春期を迎え、心身ともに大きく変化する中で、気持ちも葛藤する時期であるため、それに対する支援や指導が必要となってくる。

また、施設から通学する生徒も在籍することから、関係施設との連携を大切にしている。ここ数年施設入所に関わる中学部への転入生が増えてきている。

2 教育方針

中学部では、小学部や小学校段階で培った基礎的な力を基に、義務教育の最終段階として個々の生徒が自分のもてる力を発揮し、集団や社会の中でより主体的に、自立した生活ができることをめざす。

そのうえで一人ひとりにあった適切な進路指導を行う。また個々の課題を様々な方向から支援するために保護者や関係機関と十分に連携する。

3 教育目標

◎一人ひとりが自分のもてる力を発揮し、集団活動を通して、主体的な生活ができる力を身につける。

- (1) 健康で自立した生活をめざし、基本的な生活リズムや習慣・態度を身につける。
余暇を楽しむ力や、主体的に生活を豊かにする態度を育む。
- (2) 身体を動かす楽しさを経験し、自ら運動に向かう意欲を高める。
いろいろな身体の動かし方や使い方を経験し、ボディイメージを高める。
- (3) 学習に向かう意欲や関心を高め、期待や見通しをもち、主体的に現在や将来の生活のための知識や技能を身につける。
- (4) 自分の思いを伝える適切な表現方法を身につけ、様々な集団での活動を通して、仲間や相手を意識して活動できる力を培う。

4 学部のスローガン

「自分で考え、自分でやってみよう」

5 教育課程の特色

知的障害のある生徒の教育課程を生徒の実態に合わせて編成している。

- I：生理的基盤や生活リズムを整え、教師の援助を受け入れ、外界への興味・関心を広げていくことを目指す。
- II：集団での期待や見通しをもって学習活動に取り組み、自分の思いを伝えたり、相手の意図を理解し、思いを調整したりすることを目指す。
- III：正しい生活習慣を確実にし友だちとの関わりを大切にしながら、主体的に各教科等の学習活動に取り組み、自分の気持ちを調整しながら集団でのルールや過ごし方を身につけることを目指す。

中学部 教育課程表(令和6年度案)

種別		知・単／知・重／ 肢・重	知・単／知・重／ 肢・重	知・単／知・重／ 肢・重	肢・単		
各教科科目等	部・学年	中学部 Ⅰ 1～3年	中学部 Ⅱ 1～3年	中学部 Ⅲ 1～3年	中学部 1年	中学部 2年	中学部 3年
各教科等を含めた 指導	日常生活の指導	12	12	10			
	作業学習	0.5	1				
各教科	国語	2	1	2	4	4	3
	社会	0.5	0.5	1	3	3	4
	数学	0.5	1	2	4	3	4
	理科	0.5	0.5	1	3	4	4
	音楽	1	1	1	1.3	1	1
	美術	1	1	2	1.3	1	1
	保健体育	1	1	1	3	3	3
	職業・家庭	1	1	2			
	技術・家庭				2	2	1
	外国語				4	4	4
特別の教科	道徳	(*)			1	1	1
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	1	1	1	1.4	2	2
特別活動	ホームルーム活動 (LHR／SHR)	3	3	2	1	1	1
	生徒会活動						
自立活動	自立活動	6	6	5	1	1	1
週合計		30	30	30	30	30	30

* 「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。